

「千葉市立郷土博物館のあり方」の概要（1）

I 策定の目的・趣旨

1 千葉市立郷土博物館の現状と課題

(1)これまでの経緯

- ①郷土博物館の開設 ②博物館登録 ③施設再整備及び展示改修計画の経緯
- ④「千葉市公共施設見直し方針」による資産の総合評価及び都市アイデンティティ戦略プラン」に基づく、郷土博物館の機能強化

(2)現状と課題

- ①施設及び設備（施設設備の老朽化、立地条件及び施設の構造、展示改修の必要性）②学校・地域との連携

(3)これまでの博物館協議会における意見

- ①基本理念・コンセプト ②展示 ③資料保存・調査研究活動 ④情報発信
- ⑤博物館活動・地域連携 ⑥施設・設備 ⑦管理運営方法

2 博物館を取り巻く社会的背景（博物館関係制度改正等）

(1)「新しい時代の博物館制度の在り方について」（平成19年）

【今後の博物館に求められる役割】 「集めて、伝える」博物館の基本的な活動に加えて、市民とともに「資料を探究」し、知の楽しみを「分かちあう」博物館文化を創造

(2)「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」（平成20年）

- ①「地域の教育力向上のための社会教育施設の活用」 ②「社会教育を推進する拠点施設の在り方」
- ③「生涯学習・社会教育の推進を支える人材の在り方」 等

(3)「博物館法の改正」（平成20年） 追加事項

- ①「学習の成果を活用して行う教育活動の機会の提供」 ②「運営状況の評価・改善の実施」
- ③「地域住民等に対する情報提供」 等

(4)「博物館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成23年）

- ①「運営状況に関する評価の実施や結果の情報提供」 ②「利用者等が学習成果を生かすことができる活動機会の提供」 ③「基本的な運営方針や年度ごとの事業計画の策定・公表」
- ④「職員の専門的能力の育成、運営体制の整備」 ⑤「専門的・技術的な調査研究の実施やその成果の公表・活用」 ⑥「利用者に応じたサービスの実施や施設・設備の整備」 等

※あり方策定の目的

博物館の管理運営に関する「基本構想」の策定及び施設の再整備に向けた基本計画策定のため、今後の郷土博物館の方向性を整理する。

III めざす博物館像（ビジョン）

- (1)市民・利用者が集い、憩い、千葉市を愛し、誇りとする拠りどころが得られる博物館
- (2)千葉氏に関する情報の集約や千葉市の文化の特徴を明らかにし、地域の発展に役立つ拠点となる博物館
- (3)新たな調査・研究を提案し、その成果を発信する博物館

II 郷土博物館の役割と機能

1 郷土博物館の役割

(1)地域の歴史文化の保全・継承と活用

- ・地域の歴史文化の保全・継承
- ・地域博物館として ①千葉市域の歴史 ②千葉氏の歴史 を中心に展開する。
- ・原始、古代から続く千葉市域の歴史について、市民に対し認知され活用できるよう取組む。

(2)人材育成

- ・学校と連携し、子どもたちの学びの場を提供するとともに、郷土教育の機会の充実を図り、将来の千葉市を担う人材を育成する。
- ・ボランティア活動や市民参加による博物館づくりを通して、生涯学習を推進する人材を育む。

(3)地域活性化

- ・歴史体験を通じて、本市に対する誇りと愛着を育み、千葉市の歴史に関する調査研究を推進する。
- ・地域博物館として市民の主体的な活動の場の提供及び交流の場を創出し、地域活性化を図る。

2 郷土博物館の機能

(1)収集・保存

- ・本市の歴史民俗に関する資料を収集、保管する。
- ・資料を確実に保存するとともに、散逸・汚損の防止に努め、次世代へ継承する。

(2)調査・研究

- ・千葉氏に関する研究拠点として資料収集、調査研究を推進する。
- ・情報発信やデジタルアーカイブ機能を充実し、利用しやすい歴史資料に関する情報提供を行う。

(3)展示

- ・新たな調査研究に基づく成果等を企画展として広く市民に発信するとともに、収蔵資料の整理を推進し、市内外の他施設との連携・協力による企画展・特別展を開催する。

(4)教育普及

- ・学芸員の専門性を生かした講座等の充実を図るとともに歴史学習の場としての機能を強化する。
- ・千葉氏に親しみ、理解を深めるための講座やイベントを実施し、郷土博物館の認知度向上、利用者増を図る。

(5)学校連携及び地域貢献・市民交流

- ・学校における郷土学習との連携を図り市民や利用者の参画により歴史文化を体験できる場を整備する。

IV 今後の博物館運営の基本方針

- (1)市民に「開かれた」博物館
- (2)千葉氏などの歴史資料を次世代に「継承する」博物館
- (3)学芸員などの活動が「見える」博物館